

令和元年度 我孫子市立並木小学校

学校評価のまとめ

今年度も、「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。皆様方のご協力により昨年同様たくさんの方々に回答をいただきました。いただいた回答は学校としての見解をまとめた上に、学校評議員の皆様にもご提言をいただきまとめとさせていただきます。おかげをもちまして今年度の教育活動の成果と課題を明確にしていくことができました。このことを来年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。

「あなたは保護者として並木小に満足していますか」という設問については約92%の方が「当てはまる・大体当てはまる」と大変良い評価をしていただきました。この結果については教職員一同、次年度への大きな励みとなります。しかしながら課題とする点もいくつか挙げられましたので、「全ては子どもたちのために」を念頭に置き、より真摯な気持ちで今後も改善に向けて取り組んで参ります。

皆様からいただきましたご意見一つ一つに対して紙面においてお応えすることはできませんが、自由記述欄に記載された内容を「学校生活に関わるもの」、「職員に関わるもの」、「学習に関わるもの」、「PTA・学校行事に関わるもの」の4項目としてまとめましたので、ご理解の程よろしくお祈いします。来年度も学校教育目標である「心やさしく かしこく たくましい子どもの育成」を目指し、保護者の皆様及び地域の皆様と連携を図りながら教育活動に邁進して参りたいと思っております。

【学校生活に関わるもの】

「あいさつ」に関しては、「進んであいさつをしている」という観点において67%の保護者の方が良好と判断をしていますが、決して多いとは言いがたいと捉えています。安全面を考えると以前のように誰に対しても「進んであいさつをしよう」とは言えない現状があります。しかし地域へ出て顔見知りの人に対しては積極的に自分からあいさつをすることは大切なことと考えます。不審者対策として見知らぬ人には言葉かけをしないということの重要性もあるかと思っております。是非、ご家庭でも範を示していただけるとありがたく思います。校内においては自ら進んであいさつを交わすよう指導していますので、今後もあいさつの大切さを意識できるよう、生活委員会を中心とした「あいさつ運動」の充実を図りたいと思っております。

「部活動のあり方」については、いろいろな考え方があるかと思っております。本校では文部科学省・千葉県教育委員会さらに我孫子市教育委員会から出されている「部活動の指針」に基づき、練習計画を立て子どもたちの自己実現のために指導を行っています。子どもたち個々が自分に合った目標を持って取り組み、また異学年児童との大切な仲間関係の構築の場としても部活動の大切さを認識し運営しています。朝の練習も早い時間帯から登校している子どもたちの姿を見ると、ご家庭の負担も大きいのではないかと心配もしているところです。限られた時間の中で最大限の成果をあげられるよう今後も取り組んで参ります。子ども達が、それぞれの学年の成長段階にに応じて運動能力等、身に付けられるように、これからも保護者の皆様と連携・協力しながら取り組んで参りたいと思っております。

【職員に関わるもの】

「安全な登下校」については皆の望むところと認識しています。地域の方々のご協力を得ながら進めていますが、今年度は台風等急な早帰りが何度かありました。下校時の見守り体制がなか

なか整わないときもあり心配されたことと思います。できる限り校内の体制も整え、より多くの職員が校外にも見守りに出られるよう取り組んでいきたいと思います。また、その折にはご協力をお願いします。

教員による子ども達に対しての言葉遣いが気にかかるというご指摘がありました。言語環境を整え子ども達同士でもまた、いろいろな立場の人に対しても気持ちの良い正しい言葉遣いができるよう指導すると共に私たち自身も子どもの立場を尊重し日々の指導に当たりたいと思います。

【学習に関わるもの】

本校の学校教育目標は、「21世紀を生き抜く 並木っ子 心やさしく かしこく たくましい子」の育成です。学力向上に向けて子どもたちに充実感を味わわせるためには、学校・家庭との連携なしには最大の効果を上げることができません。そのために学校では日頃から研修に励み、指導力の向上に努めさらに人間としての教師力を高める努力をしているところです。

「子どもたちは意欲的に学習し、学習した内容を身につけているか」という設問については、保護者79%、教師86%が良好な判断をしています。来年度は学習指導要領が変わります。新たな取り組みも必要になってくることも十分に考えられます。取り組んできた成果が誰にもより「見える化」されるよう、今後も「わかる授業」と「指導の工夫」に取り組み、今求められている「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業実践をしていきます。また継続して取り組んできた「並木っ子計算検定、漢字検定」など自主的な学習を促し、目的を明確にした家庭学習の定着を図っていきます。課題のチェック等、今後も保護者の皆様やご家族にもご協力をお願いして、学校と連携した取り組みをしていきたいと考えています。

【PTA・学校行事に関わるもの】

行事の実施に当たっては、PTA本部を中心に多くの保護者の皆様にご協力をいただいております。ありがとうございます。「子ども達が行事に対して意欲的に取り組んでいる」の設問に対しては保護者評価が92%、教員評価91%が良好と共に高い数値となりました。

「PTA活動」に関しては、共働き家庭が多くなってきている現状また、子ども数の減少を考えると組織の規模の縮小など検討していただきたいというご意見をいただきました。PTA活動については本部での検討事項にもなりますので本部役員にお伝えし検討していただくよう取り計らいます。家庭訪問を未実施とした件について、「実施した方が良い」というご意見は18%でした。教育相談期間を設けていますが、いつでも相談ができる体制は整えていますので担任まで声かけをお願いします。運動会の実施方法については熱中症等も考慮しなくてはいけない課題が出てきています。PTA運営委員会にも実施方法を図りました。来年度は「半日プログラム」での実施の方向で計画を立てています。詳細については年度当初にお知らせします。林間学校の場所変更については、一年目ということで違和感があるとするご意見をいただきました。子どもたちの健康状態及び現地での緊急時の医療体制など諸事情を考慮の上、目的をより明確にして体験内容の充実を図り、この取り組みで身につけるべき内容は何かということをお大切に、来年度の計画に盛り込みたいと考えています。

【終わりに】

数々のご指摘を受ける中、激励の言葉もいただき心強い気持ちでいっぱいです。これらいただいたご意見を真摯に受け止め学校・保護者・地域の連携をさらに強固にして、子どもたちにとって、よりよい教育環境づくりになるよう、これからも邁進して参ります。

「全ては子どもたちのために」を常に念頭に置き、知徳体の調和のとれた教育活動を進められるよう職員一丸となって努めて参ります。今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。